

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	職員の配置数は適切であるか	100%			適切な職員の配置になっている
	②	変更申請等を適切に行っているか	100%			職員の入退社など必要な時に随時行っている
	③	運営規定等、事業所内に適切に貼りだしているか	100%			保護者や来客の方に見えやすい相談室に張り出している
業務改善	④	業務改善を進めるため、目標を持って職員が参画し、振り返りを行っているか	100%			週一回カンファレンスも含め職員全体で出来る限り周知している
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	86%	14%		職員で話し合い、改善した方が良い案件は出来る限り対策会議にて対応している
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			公式ウェブサイトにて毎年公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	29%	71%		外部の人には見てもらっているが評価まではいただいていない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			新人研修などの研修に取り組んだり毎週火曜日の午前中に全体で勉強会を行っている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			保護者、子ども共に面談を行い、対応の上検討し、児童の様子からも、適切な個別支援計画を作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	86%	14%		WISC検査結果なども使用している
	⑪	活動プログラムの立案を行っているか	100%			職員同士で会議を行い児童の状況に合わせた療育を考案している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			考案者が固定しないよう交代したり、ルールのアレンジなどでも変化をもたせている
	⑬	平日、土曜日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	86%	14%		曜日ごとにプログラムを設定しており長期休暇中も専用の日程がある
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	86%	14%		集団での療育を重点的に行っているが、状況に合わせて個別にSSTを行っている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			打ち合わせと確認の時間を設けており、療育時の動きを確認している
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	71%	29%		気になった点や児童の様子、反省点などを共有している。また、振り返り時に不在だった職員に対しては当日が難しい場合は翌日以降には共有している

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			児童の感想シートや療育の様子をもとに記録し次回に繋げている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	86%	14%		モニタリングを行い、それをもとに個別支援計画の作成を行っている
	⑲	送迎車等の整備・点検等、適切に行われているか	100%			車内置き去り防止システムを設置したほか、車検日などを一覧表にして管理している
	⑳	自由時間・療育等で使用する遊具等の備品は、安全面に配慮し点検されているか	86%	14%		定期的に消毒を行い、その際に破損の有無を確認するとともに事故につながる可能性のあるものは予め対策している
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			希望者には管理者や児発管が児童の様子をしっかりヒアリングした上で参加している
	㉒	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			各学校と連絡を取り合い、情報共有をしている
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	29%	57%	14%	全員ではないが情報共有を行っている。また、保護者からしっかり聞き取りを行っている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	14%	86%		卒業生が少なく福祉へ行かれた児童はいないが、児童の情報や記録は管理しているため何時でも提供が可能
	㉕	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	29%	71%		現在、コロナより開催されていない
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14%	86%		送迎時に保護者に児童の様子を伝えたり連絡ノートを通したりして情報を共有している
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%			臨床心理士によるペアレントトレーニングを行っている
保護者への説明責任等	㉘	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			管理者・児発管が詳細に説明を行っている
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			随時、保護者からの相談に対応しており、児童の様子と照らし合わせてアドバイスをしている
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14%	72%	14%	特別な会はないが、イベントなどにより保護者がふれあう機会は設けている

	③①	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			苦情について、速やかに職員で共有し、対策を行い、対応までの流れを記録している
	③②	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	43%	43%	14%	定期的な会報はないが月ごとの予定表を配布している。イベントなどについてもプリントの配布や連絡ノートによる連絡を行っている
	③③	個人情報に十分注意しているか	86%	14%		鍵付きの棚で厳重に管理しており、関係者以外は閲覧できない
	③④	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			児童、保護者ともに配慮のある対応を行っている
	③⑤	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	57%	29%	14%	毎回ではないがイベントによっては地域の方が来やすい状況を作っている
非常時等の対応	③⑥	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	57%	43%		年に一度行っている。
	③⑦	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			事例を用いながら説明し、虐待防止について周知させている
	③⑧	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	86%	14%		身体拘束の同意書を用意し説明の上、同意を得た児童については計画書に記載している
	③⑨	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	71%	29%		保護者からの報告で対応させてもらっている
	④⑩	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	57%	43%		事例集などはないが事故報告書は随時記録し、保管している